

## 国際文化情報学科について、学校説明会や座談会でよくあるご質問にお答えします。

### Q1 国際文化情報学科とは、どんな学科ですか？

→国際文化情報学科は、平成23年4月に創設され、今年度で11年目を迎えました。本学科の目標は、3つあります。英語の分野においては、自分の考えや意見を発信することのできる高い英語力を育成します。文化・社会の分野においては、国際社会における世界の様々な社会事象について正確な理解を身につけさせるとともに、日本の文化や伝統を大切にする心の養成を図ります。また、情報の分野においては、情報を主体的に分析・活用する能力を身につけさせ、高いプレゼンテーションスキルを育成します。このようにして、英語、文化・社会、情報の3つの分野を通して、将来、グローバルな視野を持って、多様化する国際社会で活躍できる人材を育成することを目的としています。

### Q2 国際文化情報学科の授業は、どんな感じですか？

→学科の目指していることを実現するために、英語に関する科目、文化・社会に関する科目、情報に関する科目を用意しています。全体として、ALTとの授業が多く、また英語でのプレゼンテーションやパフォーマンスを求められる授業が多いことも特色の一つです。

### Q3 国際文化情報学科独自の行事には、どんなものがありますか？

→イングリッシュ・セミナー(1年生)、西宮市立鳴尾北小学校へ English 出前授業(1年生)、英語シテーション・コンテスト(1年生)、英語スピーチ・コンテスト(2年生)、文化交流会、国際理解講演会、All English Day、国際交流のための日本の文化に関する学習会(2年生)、イギリス研修旅行(2年生)、オーストラリア海外研修(クイーンズランド州)、姉妹校 Eaton Community College(西オーストラリア州)へ生徒派遣および生徒受け入れ、台中市立台中第二高級中等学校(台湾)とのオンライン交流などがあります。

### Q4 イギリス研修旅行では、何をしますか？

→約1週間の滞在中に、現地校との交流・2泊のホームステイ・企業訪問・ロンドン市内班別研修・ミュージカル鑑賞を予定しています。高校生活で最大の行事と言えるイギリス研修旅行ですが、毎年、かけがえのない最高の思い出を胸に日本へ帰国します。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、イギリス研修旅行から国内研修旅行に切り替えました。イギリス研修旅行に代わる、国内で唯一、英国の体験が味わえる「パスポートのいない英国 British Hills」が最もふさわしい研修場所と判断し、選定しました。普段の学校生活では経験できない中世英国文化の雰囲気味わえます。英語力を鍛えるだけでなく、異文化理解にも十分ながら充実した多数のレッスンが用意されており、その中から7つ選択して受講しました。国内にいても英語に浸ることが可能な環境で、国内イギリス研修旅行を思いっきり満喫しました。また、最終日は富士急ハイランドで、富士山を背にアトラクションを満喫し、忘れられない思い出の一つになりました。研修旅行後のアンケートでは、研修全体の評価として「とても良かった・良かった」が96%と、生徒からは大変好評でした。

### Q5 将来の進路はどうなりますか？

→国際文化情報学科のカリキュラムは、文系の多様な進路選択に幅広く対応しています。国公立大学や難関私立大学等に進学し、自らの夢の実現を目指すことができます。